

2022年11月16日

報道機関各位

株式会社陽進堂

Biocon Biologics 社との日本国内におけるバイオ後続品の 独占的販売権に係る契約締結について

株式会社陽進堂（本社：富山県富山市、社長：北村博樹、以下「陽進堂」）は、Biocon Biologics（本社：インドベンガルール、CEO：Kiran Mazumdar Shaw、以下「Biocon」）と2022年9月30日付でウステキヌマブ（遺伝子組換え）＜先行製品名：ステラーラ®＞及びデノスマブ（遺伝子組換え）＜先行製品名：プラリア®＞のバイオ後続品（以下「本剤」）に関する、独占的販売権契約を締結したことをお知らせ致します。

本契約締結により陽進堂は、Biocon が開発・製造する本剤の日本における独占的な販売権を取得することとなります。

本剤の日本における開発は、ケミカルバイオサーチ株式会社（本社：富山県富山市、社長：田中順一郎）に委託し、陽進堂が本剤の製造販売承認権を取得すべく進めてまいります。ケミカルバイオサーチ株式会社は、陽進堂の親会社である陽進堂ホールディングス株式会社の完全子会社であり、バイオ後続品を中心とした医薬品の研究開発を担っております。陽進堂グループのリソースを最大限に活用し、本剤の開発、承認申請並びに販売を手掛けていくこととなります。

ウステキヌマブ（遺伝子組換え）及びデノスマブ（遺伝子組換え）はヒト型抗ヒト IL-12/23p40 モノクローナル抗体製剤及びヒト型抗 RANKL モノクローナル抗体製剤として臨床効果ならびに安全性が評価されておりますが、より安価な製品の供給を可能とする本剤は、医療保険制度の財政負担軽減の観点からも大いに期待されているものと考えます。

陽進堂について

1929年の創業以来、原薬から製剤まで、一貫した研究開発・製造・販売の確かな体制を整え、高品質でリーズナブルな価格のジェネリック医薬品を製造するメーカーとして、大きな信頼を得てきました。現在、輸液・透析液などのエッセンシャルドラッグやバイオ医薬品にも取り組んでおり、これからの日本に「なくてはならない製薬企業」を目指し果敢に挑戦していきます。

Biocon Biologics 社について

Biocon Ltd.の子会社であり、最先端の科学、革新的な技術プラットフォーム、高度な研究開発能力を活用し、バイオ医薬品のコスト削減と医療の向上に取り組んでおります。同社は、バイオ後続品のパイプラインを豊富に有しており、既に7つの製品を米国、EU、オーストラリア、カナダ、日本などで商業化しております。

本件に関する問い合わせ先：

株式会社陽進堂

経営戦略本部経営企画部

TEL:076-465-7777